第46回東日本中学生ラグビーフットボール大会
ラグビースクールの部及び女子の部
兼 第32回全国ジュニアラグビーフットボール大会1st & 2ndステージ

実施要項

1. 目　的

関東協会管下のRS（女子は中学校を含む)に所属する中学生で編成された都道県代表チームによる大会を実施、東日本地域での中学生ラグビー活動を活性化し、中学生プレーヤーの交流を促進すると共に、心身の発達支援、普及の推進、及び競技力の向上を図る。同時に、中学生ラグビーに携わる指導者の質の向上を図り、中学生プレーヤーを始め、関係中学生が健全な社会形成者として必要な資質を得られるよう働きかけることを目的とする。

2. 名　称

「第46回 東日本中学生ラグビーフットボール大会・ラグビースクールの部及び女子の部
兼第32回全国ジュニアラグビーフットボール大会1st & 2ndステージ」

3. 主　催　関東ラグビーフットボール協会

4. 主　管　北海道、福島県、群馬県、千葉県、福島県 の各ラグビーフットボール協会

5. 期日・会場　令和8年10月～11月の以下の日程と会場

■ 男子ラグビースクールの部 ■　12人制

◇ ファーストステージ1,2,3,4

1）第1地区：北海道・青森県・秋田県・岩手県
10月11日 根崎公園ラグビー場

2）第 2 地区：宮城県・新潟県・福島県・山形県
10 月 11 日 住鉱エナジーマテリアル NARAHA ピッチ
（楢葉町総合グラウンド多目的運動場）

3）第 3 地区：栃木県・群馬県・茨城県
10 月 25 日 伊勢崎市ラグビー場

4）第4地区：長野県・山梨県・埼玉県・千葉県
10月18日 陸上自衛隊習志野演習場内グラウンド

◇ セカンドステージ：11月7日（土）福島県双葉郡楢葉町 J-VILLAGE

◇ ファイナルマッチ：11月8日（日）福島県双葉郡楢葉町 J-VILLAGE

■ 女子の部 ■

（重要） 本年度については通常の「12人制の部」のみとし、
「7人制の部」は実施しないこととする。

◇ ファーストステージ　　11月7日　福島県双葉郡楢葉町 J-VILLAGE

◇ ファイナルマッチ　　11月8日　福島県双葉郡楢葉町 J-VILLAGE

6. 大会形式（試合組合せ・対戦）※ 試合対戦表、組合せ表は別紙に記載する。

7. 出場チームの要件 参加チームの出場要件は以下の通り。

※ 各都県は、本年度のJRFU・ベースキャンプ活動に参加(登録)が必須。

■ 男子ラグビースクールの部 ■

主催協会管下の都道県協会が承諾、推薦する当該協会に所属する全ラグビースクールの「主登録選手」から選考した「男子選手」によって編成された代表チームとする。

但し、都道県単独でのチーム編成ができない場合は、特例措置として、主催協会が事前に調整、承諾した複数の都道県協会で編成したチームの参加を承諾する場合がある。

※但し、出場選手人数を確保する為のチーム編成に限定、強化目的の合同チームは不可

■ 女子の部 ■

要件は男子RSの部と同様で「女子選手」によって編成された代表チームとする。

8. 地区割りと出場チーム

■ 男子ラグビースクールの部 ■（以下17チーム）

・第1地区　北海道RS代表 青森県RS代表　秋田県RS代表　岩手県RS代表
・第2地区　宮城県RS代表 新潟県RS代表 福島県RS代表　山形県RS代表
・第3地区　栃木県RS代表 群馬県RS代表 茨城県RS代表
・第4地区　長野県RS代表 山梨県RS代表 埼玉県RS代表 千葉県RS代表
・第5地区　東京都RS代表
・第6地区　神奈川県RS代表

■ 女子の部 ■（以下７チーム）

北海道女子代表
青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島県(東北)女子代表
群馬・新潟・山梨県女子代表
埼玉・栃木・茨城県女子代表
千葉県女子代表
東京都女子代表
神奈川県女子代表

9. 参加資格

1）(公財)日本ラグビーフットボール協会に個人登録されている者で、主たる活動チームから参加している者とする。※ 副チームから参加することはできない。

2）選手は、JRFU Rugby Familyに参加チームを通じて「登録」しているU15 カテゴリー（中学3年生）（※１）の該当者であり、2011年04月02日～2012年04月01日に生まれた者で、主登録チームから推薦(承諾)された者とする。

◇ なお、対象となる中学3年生の人数だけでは登録選手数が不足し、チームの編成や活動に支障が生じる等、正当な理由がある場合は中学2年生（2012年4月2日～2013年4月1日に生まれた者）の参加（要事前申請）を許可(特例)する。

◇ 過年度生の試合への出場は(公財)日本ラグビー協会の規程に従って、同一時間に1 名の出場に限る。但し、下記 3）の外国籍選手は本特別措置を適用しない。

3）外国籍選手の試合への出場は同一時間に1 名以内の出場に限る。

但し、以下、①～④の一つに該当する外国籍選手は日本国籍者と同様の扱いとなる。

① 本人、両親又は祖父母のうち 1 名以上が日本で生まれた。

② 選手登録の時点から遡って連続して 60 か月日本に居住している。

③ 通算して 10 年以上日本に居住したことがある。

④ 本人及び本人と生計を一にする者(保護者)の生活の本拠が日本にある。

4）参加選手は、事前に「保護者承諾書・兼参加同意書」を提出しなければならない。

5）チームの役員2名の内、1 名はJRFU公認コーチ資格(原則としてC級コーチ以上)とする。なお、C級コーチ以上の資格者がいない場合は事前に相談が必要だが、可能な限り各都道県協会にて調整すること。

◇ また、チームの登録役員の内1 名は、現時点で当該都道県協会の普及育成担当委員であること。

6）出場チームの選手・役員は、本大会期間を対象とするスポーツ安全保険やスポーツ傷害保険と同等か、それ以上の傷害保険に事前に加入していなければならない。

10. 参加の為の必要書類の提出

チームは以下の書類を提出し、関東協会の担当委員が受領、承諾、内容を確認、問題がないと確認した時点で参加資格を得るものとする。

(1)「参加申込書」

・チームは 1st.ステージの 2 日前、或いは 10 月 19 日(月)の最終期限の早い日程で関東協会(info@rugby.or.jp)にメール送信する。

・なお、1st.ステージには、コピーを持参し、1st.ステージ担当委員に提出する。

・(原本) 原本は、理事長印を押印の上、関東協会宛に 11 月 2 日(月)必着で郵送する。

(2)以下書類を各試合当日の KO60 分前までに 1st.ステージ担当委員に提出する。

➡ 当該当番県担当委員は受領した書類を纏めて 2nd.ステージ会場に持参、提出の事

・「保護者承諾書・兼参加同意書」☜ **但し、保護者承諾書については、1st.ステージに提出した選手はその後にあらためて提出する必要はない。（注：1st.の主管担当委員は各チームから保護者承諾書を受領・確認の上、可及的速やかに纏めて関東協会事務局に郵送すること。）**

・「選手・チームスタッフ管理確認票」

➢ 各試合日程の第 1 試合にメンバー表と一緒に提出する

・「メンバー表」 ※ 2 試合目以降の提出期限は各会場の担当委員に確認のこと。

(3)登録候補選手の変更　　☜ チーム代表者

・登録候補選手の変更は、開催日初日の第 1 試合 KO の 60 分前までにチーム代表者が「**登録候補選手変更届**」を提出することによって変更することができる

※開催日初日とは、1st ステージ初日、及び 2nd ステージ初日とし、ファイナルマッチ当日の変更は認めない。

※追加された選手は「保護者承諾書・参加同意書」を提出しなければならない。

11. チームの構成

1)・12人制出場チームは「登録候補選手(スコッド)」15 名以上、30 名以内、及び役員2名(及び特例措置として許可する追加帯同コーチ3名以内)とする。

・※本年度女子７人制は実施しない。

2) 試合グラウンド、及びベンチに入ることができるのは、

・12人制出場チームは、メンバー表に記載された登録役員2 名(及び追加帯同コーチ3名以内)、登録選手22 名以内(最低15名)、合計27名以内とする。

・※本年度女子７人制は実施しない。

※　確認事項　※　登録候補選手の内、ベンチ入り以外の選手は競技エリアへは入れず、チーム帯同者と同様に観戦席での観戦となるので、要注意。

【確認事項】ベンチ入りメンバーの内、最低5名はフロントローとしてしっかりと安全にスクラムを組むことができる選手を揃えていなければならない。

3) チームは**セーフティーアシスタント(以下「SA」)** 1 名を登録しなければならない。SA はSA 認定証を携行する。SA は試合前にマッチドクターにSA 認定証を提示し、マッチドクター(マッチドクター不在の場合はグラウンド責任者)の指示に従って適宜、活動する。SA のベンチ入りは不可とする。

12.その他のチームの役割と引率者

1)　**記録簿記載者**

チームは役員、又は追加の帯同コーチの内から 1 名を記録簿記載者として、対戦相手の記録簿記載者と共同で当該試合の記録簿を作成する。

2)　**補助員**

・　ウォーターパーソン　当該試合のチームが担当(ベンチ入り登録選手が担当する)

➤　**追記：3 名以内 … ビブスはチームで用意**

・　ボールパーソン　当該試合のチームの登録候補選手から 3 名～4 名を配置する。但し、不足する場合には登録候補選手以外の帯同中学生でも可とするが、この場合は事前に主催協会に許可を得ること。

3)　**チーム帯同レフリー**

チームは帯同レフリー(原則 B 級)1 名以上を帯同**(必須事項です)**させること。帯同レフリーは主に AR を中心に担当するが、一部のチーム帯同レフリーには支障のない範囲で MO を割り付ける場合がある。詳細な申し込み登録は、別途、案内する。

4) **チームスタッフ・引率者** ☜ チームスタッフ・引率者は、登録候補選手と同様に日々の検温などを含めて健康管理を徹底し、その結果をチーム代表者に報告する。

5) **ヘッドコーチ** ☜ ヘッドコーチは責任をもって登録候補選手の日々の検温実施の確認の他、健康状態を確認し、「健康管理票」を各試合当日の第1試合のメンバー表と一緒に主催者に提出する。

6) **セーフティーアシスタント** ➡ チームはSAとして1名を帯同させること。

7) **その他の引率者・保護者** ➡ 会場内でのチームとの接触は不可とし、行動エリアはベンチから離れた観戦エリアとして、ソーシャルディスタンスを厳守。また、アップ場所、グラウンド、ベンチ、及びベンチエリアへの侵入、接近は不可とする。

13. 競技規則及び競技方法

1) （公財）JRFU 制定の2022 年度U-15 ジュニアラグビー競技規則による。
男子、女子ともに12人制を実施する。なお、女子7人制を実施するか否かはJRFU、及び各都道県協会の参加意向を確認・調整の上、決定する。
同時に同協会「U-15 ジュニアラグビー競技ガイド」を準拠する。

※ レッドカードを受けた選手は、原則としてその後の本大会の試合には出場できない。但し、最終決定は主催協会普及育成員会の決定に委ねる。

2) 一つのチームが1日2試合を実施の場合、男子は17分ハーフ、女子は15分ハーフでの短縮試合とする。なお、男子の11月７日・1日目はランニングタイム、ロスタイムなし。

3) 競技手順

(1) メンバー表： KOの30分前までに2部提出すること。

(2) ベンチ： ベンチサイドは、大会本部席からグラウンドに向かい試合日程表の記載通りです。
男子RSの部の2日目については、大会本部席からグランドに向かって、会場から近距離チーム(ホーム)を左、遠距離チーム(ビジター)が右とする。(都道県庁庁舎所在地から計測)
ベンチ外側の10m付近で待機、前の試合終了後に前のチームが撤収後、ベンチに入る。この為、チームは試合終了と同時に後方まで下がって次のチームに譲ること。
※ セカンドステージ、ファイナルマッチ・三つ巴戦でのベンチ配置は当日、指示する。

(3) 挨拶： 試合前、試合終了後の挨拶は以下の通り。※厳守
(試合開始) KO時間前には、レフリーと共にキャプテンを先頭に10mライン上からグラウンドに入り、そのまま試合開始ができるポジションについてセットする。
(試合終了後) 直ちに相手側ベンチ前で整列・挨拶し、5mライン上を対戦相手の選手と交換しながら自チームベンチに戻り、直ちにベンチを撤収する。

(4)　円陣：　グラウンド内、ベンチ前で円陣を組むことは禁止する。
なお、試合前に限ってベンチ横で円陣を組むことは可能だが、相手側に向かって、或いは相手側に対して威圧をかけるような掛け声は一切、禁止する。

(5)　指示：　前項の場面を含めてベンチ内であってもコーチは大声での指示は行わない。また、ベンチ以外のエリアからの指示等も厳禁とする。当然、大声での叱咤激励、レフリーなどへの疑問の声を出すことは禁止行為とする。

(6)　交代：　交代用紙と入れ替わる新たな選手を委員席まで連れて行き意思表示する。

(7)　ボール：　ボールパーソンは、試合前にボールを除菌する。

※　委員は会場を確認し、競技区域と観戦区域を明確に指示、及び参加チームや観戦者に伝え、周知徹底を促すこと。

※　必要以外の方々について役員席などへの侵入はお断りする。

※　上記のルールを守っていない方は会場エリアからの退出を求める。

4) 順位決定方法（スクールの部、女子の部とも）

◇ リーグ戦：勝ち数の多いチームが上位となる。　**※　三つ巴戦も同要領で対応**

2 チーム以上が同じ勝ち数の場合、下記の順(多い)で順位を決定

① 引き分け数 ② 総得失点差 ③ 総得点 ④ 総トライ数 ⑤ ゴール数

※ ①～⑤で決定できない場合は、抽選とする。

◇ トーナメント戦:同点の場合上位戦へ進出するチームは、下記の順(多い)にて決定

① トライ数 ② ゴール ※ ①～②決定できない場合は、抽選とする。

※ 組合せ、対戦は、6. の大会形式による。※別紙、組合せ、対戦表を参照下さい。

5) 試合の成立

天災、天候不順などで試合が中断し、当日中に再開が困難な場合は、以下の通りとする。

・順延となった場合

①　前半戦で中断した場合、再試合として前半KOからの開始

②　前半終了後の中断の場合、後半KOからの開始

・順延が不可能な場合

①　前半戦で中断の場合、引分け　トーナメント戦での次戦への出場は抽選

②　前半終了後の中断の場合、その時点でのスコアで決定

14. 費用（大会参加料）

1) 原則として参加チーム(参加者)の負担とする。

2) 但し、2ndステージ、ファイナルマッチにおいては、遠方チームに対しては交通費の一部を補助する。

3) 大会参加料は、登録選手、指導者(含む追加帯同コーチ)、SA ともに1 人1,000円とする。※ なお、追加帯同コーチなどの氏名はプログラムには掲載しない。詳細後述

4) 試合中発生の負傷等の医療費(健保扱い)や経費は、チーム(選手)の負担とする。

15. 表 彰

■ 男子スクールの部 ■ 第1位、2位、3位チーム

■ 女子の部 ■

「12人制の部」 第1位チーム　※表彰チーム数は各都道県の参加意向を確認後決定

「7人制の部」は実施しない。

16. 第31回全国ジュニアラグビー大会への推薦

相応の成績を収め、WRの５つのコアバリューを実践している品行方正であると認められるチームを「第32回 全国ジュニアラグビーフットボール大会・ファイナルステージ」に推薦(推薦方式)する。

※成績は必要条件の一つであるが、絶対条件でなく、そのまま推薦基準にならないことに留意すること。

■ スクールの部： 上位3チーム　＋　代表決定戦での勝者1チーム　計4チーム

■ 女子12人制の部：　1位チーム 計1チーム

■ 女子7人制の部：女子普及育成G　計2チーム(未定)

昨年の第32回大会では女子普及育成G・7人制の部が実施される場合、関東協会にて推薦する。主な推薦基準は以下の通りとする。

・地域(都道県)の中学生女子の普及育成を主眼に推薦する。

・尚、過去に全国ジュニアラグビー大会の女子の部への出場経験が少ないか、或いは太陽生命カップへの出場経験が少ない都道県を優先することも推薦判断の一つとなる。

(特記事項) この場合、関東協会にて今回の東日本中学生大会に出場したチーム形態を変更(組換え)して推薦することを検討する。

(※)JRFU への推薦順位は、本大会の結果を参考にし、本協会で審議の上、決定する。

(※) 第 32 回全国ジュニアラグビー大会においては、コーチの内、1 名は JRFU 公認コーチ(C コーチ以上)の有資格者であることが必須条件となる。

17. 諸注意

・ 参加チーム代表者は安全に配慮し、会場までの往復や会場内での行動を管理する。

・ 参加チームはファーストジャージの他、セカンドジャージを用意すること。

・ 参加者は保険証を持参すること。

18. 健康管理

1) 出場チーム代表者は、保護者から「保護者承諾書・同意書」を受領し、選手が健康であり本大会への出場に問題がないことを確認し、選手が良好な健康状態を保てるよう管理すること。

2) チーム代表者(引率指導者)は、選手の健康管理に十分注意し、試合当日は毎朝、「メンバー表」と一緒に「健康確認票」を提出すること。

3) チームは、参加者に対して「マイナンバーカード」「健康管理確認証」などの医療機関での保険診療が可能なカード（証書）を持参させ厳格に管理すること。

19. 健康管理と感染症の感染予防

健康管理に加えて新型コロナウイルス等の各種感染症の感染防止に努めていること。

1) チームの参加者はこまめな手洗いの慣行、或いはアルコール等による手指消毒を実施すること。
2) ペットボトル，タオル等は各自で用意し、個別に使用するか、非接触型のスクィーズボトルを使用する。なお、接触型のスクィーズボトルなどの使いまわしは厳禁とする。
3) チーム、参加者(含む大会役員・レフリー)は、念の為、予備のマスクを用意すること
4) チーム、参加者は、日々の検温を実施して結果を報告すること
5) 主催協会、主管協会の役員(含むレフリー等)は、同様に日々の検温を実施して必要な場合は所属部署の上席者に報告し、相応の対応をすること。
6) ゴミはチームが責任をもって持ち帰ること。
7) チームはこれらの注意事項を周知徹底し、履行すること。

20.大会参加料

・参加チームは、参加料を 2026 年 10 月 30 日までに下記の銀行口座に振込みにて支払うこと。

(振込先・口座情報)

銀行名　みずほ銀行　(0001)

支店名　渋谷支店　(支店番号　210)

口座種別　普通

口座番号　0209982

口座名　関東ラグビーフットボール協会　会計理事

　　カントウラグビーフットボールキョウカイ　カイケイリジ

※注意・確認事項※

・女子合同チームの場合は各県個別ではなく、幹事県がまとめて、合同チーム名でのお振込みください。

・合同チーム名でのお振込み不可の場合は、お振込みいただいた際にメールにてご連絡ください。

・お振込みいただく金額は、チーム全体の大会参加料から振込手数料を引いた金額でお願いいたします。

∴大会参加料 ― 振込手数料 = 振込金額

(確認：大会参加料は、登録選手＋指導者(含む追加帯同コーチ)＋SA ともに 1 人当たり 1,000 円です。)

・領収書は個別で発行することが可能ですので、必要な際は宛名と金額をそれぞれご連絡ください。

【主催協会事務局】関東ラグビーフットボール協会 info@rugby.or.jp

〒107－0061 港区北青山2－8－35　TEL03－3423－4421／FAX03－3423－4619